

1

【さあ主にささげよう】

さあ主に捧げよう 感謝の歌を
 さあ主に捧げよう 感謝の歌を
 ハレルヤ ハレルヤ 力の限り
 ハレルヤ ハレルヤ 主にささげよう

さあ主の御前で 喜び踊ろう
 さあ主の御前で 喜び踊ろう
 ハレルヤ ハレルヤ 力の限り
 ハレルヤ ハレルヤ 喜び踊ろう

【主の喜びが】

主の喜びが 心にあれば×2
 悲しみは笑いに 苦しみは喜びに
 嘆きは踊りに すぐ変わる

新聖歌301番 備えたもう主の道を

1. わが行く道 いついかに
 なるべきかは つゆ知らねど
 主は御心 成し給わん

備え給う 主の道を 踏みて行かん 一筋に

2. 心猛(たけ)く たゆまざれ
 人は変わり 世は移れど
 主は御心 成し給わん

3. 荒海(あらうみ)をも うち開き
 砂漠(すなはら)にも マナを降らせ
 主は御心 成し給わん

主の前にひざまづき

主の前に ひざまづき 心から賛美ささげる
 あなたはとこしえに わたしの神

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り
3. 個人的な願いの祈り
4. とりなしの祈り

- ・大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ・瀬戸カルバリーチャペルの成長のため
- 教会員とご家族の養いと導きと守りのため。
- 魂の救いと地域の伝道のため
- インターネット YouTube が用いられるように。
- 病いや困難と闘っている兄弟姉妹のため
- ライフアートスタジオのこれからのため
- ウクレレ教室/キッズ英語教室/モンテッソーリ教室
- クリスマス・アルバム「Room For Christ」のため

5. 日本と世界の平和を願って...

- 日本の国の霊的回復とリバイバルのため
- アジアの緊張関係にあつて日本が用いられるように
- アメリカ大統領とこれからの世界情勢のため
- イスラエルの平和のため



「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「燹垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致しましょう。

瀬戸カルバリーチャペル

Seto LIFE ART Studio

愛知県瀬戸市みずの坂5-64 0561-48-8899

牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ヨハネ福音書14章で約束されている4P

1. Place(場所・すまい)
2. Prayer(祈り・願い)
3. Presence(聖霊によるご臨在)
4. Peace(イエス様の平安)

ヨハネによる福音書14章15～18節

15 もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。

16 わたしは父にお願いしよう。そうすれば、父は別に助け主を送って、いつまでもあなたがたと共におらせて下さるであろう。

17 それは真理の御霊である。この世はそれを見ようともせず、知ろうともしないので、それを受けることができない。あなたがたはそれを知っている。なぜなら、それはあなたがたと共におり、またあなたがたのうちにいるからである。

18 わたしはあなたがたを捨てて孤児とはしない。あなたがたのところに帰って来る。

コリント人への第二の手紙1章3～5節

3 ほむべきかな、わたしたちの主イエス・キリストの父なる神、あわれみ深き父、慰めに満ちたる神。4 神は、いかなる患難の中にもわたしたちを慰めて下さり、また、わたしたち自身も、神に慰めていただくその慰めをもって、あらゆる患難の中にある人々を慰めることができるようにして下さるのである。5 それは、キリストの苦難がわたしたちに満ちあふれているように、わたしたちの受ける慰めもまた、キリストによって満ちあふれているからである。

3

黙想とところの投影の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

ローマ人への手紙8章26～28節

26 御霊もまた同じように、弱いわたしたちを助けて下さる。なぜなら、わたしたちはどう祈ったらよいかわからないが、御霊みずから、言葉にあらわせない切なるうめきをもって、わたしたちのためにとりなして下さるからである。27 そして、人の心を探り知るかたは、御霊の思うところがなんであるかを知っておられる。なぜなら、御霊は、聖徒のために、神の御旨にかなうとりなしをして下さるからである。28 神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。

4

みことばの解説

イエス様はヨハネ14章からの告別メッセージにおいて、これから先のことをお話されました。十字架と復活、召天以降のことを前もって語られたのは、神様の御業は「あらかじめ定められたもの」であり、神のご計画は神ご自身が知っておられるという意味です。

そのご計画とは、「別の助け主」を送ってくださるということでした。それはギリシャ語で、「アロス・パラクレイトス」と言います。アロスは「別は別でも同格の御方」つまりイエス様と変わらない、同じ御方が、「パラクレイトス」して下さる。

パラは、傍らにの意ですが、旧約聖書のチェラと同義語で、この言葉は「側・サイド」という意味。アダムからエバが取り出されましたが、その時「あばら骨」と訳された言葉も「側・サイド」です。

つまり、聖霊様は私たちのあばら骨、イエス様から取り出され私たちに与えられた、かけがえのない、離れることのできない存在なのです。

クレイトスは、「寄り添う」「共に立つ」という意味で、この「パラ」と「クレイトス」が合わさって「助け主」という言葉になりました。それは、慰め主、励まし主、いやし主、助け主、弁護士と訳せる言葉ですが、最も重要なことは、「いつもご臨在して下さる御方」ということです。イエス様は、あなたがたを孤児にしない、と約束され、自分と同じ聖霊様が、私たちの傍らにいつも寄り添ってくださると約束して下さったのです。

私たちの神様は「慰めに満ちておられる御方」です(2コリント1の3)。聖霊様は弱い私たちを助けて、とりなしをして下さっています(ローマ8の26)。そして「神の御旨」「ご計画」にかなう執り成しをして下さるのです。この御方と共に働く時に、「あらかじめ定められた」神のご計画が成就し、すべてのことを働かせて益にしてください。今日も聖霊様を歓迎し、導きを仰いで、お祈りしてまいりましょう。